

# 日本を調べるための 日本の参考図書 (除く統計書)

村上 清子

## はじめに

ここに掲載するリストは「日本研究司書研修」の一科目である「日本の参考図書」で用いた教材を改訂したものである。

「日本研究司書研修」は、平成8年度から12年度までの5年間、国際交流基金の依頼により当館が受託研修として実施してきた。その目的は、海外の図書館等で日本関係資料及び日本情報に携わっている司書を対象に研修を行い、海外における日本研究及び日本情報提供の基盤整備を図り、海外からの日本情報へのアクセスを保障することであった。毎年1月から2月にかけて約3週間の期間で行われたこの研修の参加者は、5年間で25ヶ国から延べ64人になった。

筆者は研修科目中の「日本の参考図書」を毎回担当し、海外の日本研究者の求めに応じて、適切な情報を提供するための参考図書や情報源を選択して解説を付し、教材として研修生に配布した。第1回目の研修時は持ち時間が一時間と短かったため、収録数は約100タイトルであった。2回目以降は、持ち時間が半日に増えたことや日本において初等・中等教育を受けた研修生が減少したこともあって、200タイトルを目途に収録タイトル数を増やすことを心がけた。

リストには、当館の参考図書室などの資料室で開架している図書を基本とし、また筆者の長年の経験から有用と思われる図書を選択し、さらに重要と思われる資料には\*を付けて収録した。研修生の帰国後の仕事に役立つように、各項目にはできるだけ簡易な日本語で資料の内容や使用方法などの説明を付し、毎回、増補改訂を行った。幸いにしてこの研修科目は教材ともども好評を得ることができ、海外の日本研究司書の支援に多少なりとも寄与し得たと自負している次第である。

今回のリストは第5回目(平成13年1月)の研修教材を本誌向きに改訂し、それ以後に出版された資料を追加したものである。なお、「除く統計書」とあるのは、研修の中で日本の統計に関する科目が別にあったためであり、また、官庁資料についても同じ理由で本リストからは省略されている。

## 日本の参考図書リスト

このリストには、主として国立国会図書館の各参考室に排架されているレファレンスブックを収録しています。ここに掲載した文献の区分や排列については適宜に構成し、また、講義時間の制約から解説を省略した文献もあるのでご了承ください。

- [1] 所蔵調査 (1)～(5)
- [2] 所蔵機関調査(総合的な目録) (6)～(10)
- [3] 書誌的事項調査 (11)～(21)
- [4] 簡易な事実調査
  - 基本的な辞書
    - 百科事典 (22)～(24)
    - 国語辞書 (25)～(31)
    - 漢和辞典 (32)～(41)
    - 歴史辞典 (42)～(46)
    - 地名辞典 (47)～(52)
    - 人物辞典・人物情報 (53)～(77)
    - 各種団体関係 (78)～(88)
  - 社会科学系の辞書, ハンドブック (89)～(110)
    - 法律, 政治, 軍事, 外交, 経済・産業, 教育・社会
  - 人文科学系の辞書, ハンドブック (111)～(160)
    - 歴史, 民俗学, 宗教, 芸術・美術, 芸能, 文学, 書誌学
  - 科学技術系の辞書, ハンドブック (161)～(170)
- [5] 文献紹介 (171)～(202)
- [6] 類縁機関案内 (203)～(210)
- 書名索引

## [1] 所蔵調査

### (1) 当館の各種蔵書目録

館外向けには和図書(1948年—), 洋図書(1986年—)ともに2000年3月からWeb-OPACで公開しており, 当館のホームページ(<http://www.ndl.go.jp>)から検索できる。館内では, カード目録, 冊子体目録, 和図書CD-ROM(J-BISC), 和洋図書・和洋雑誌・雑誌記事索引のOPAC, 雑誌記事索引-CD-ROMが目録ホール等に設置されている。和図書のカード目録は1997年3月受け入れ分をもって編成を中止した。

### (2) 児童図書目録 国立国会図書館所蔵 1971—1997年 7冊

昭和45年4月現在, 1975年, 1981年, 1986年, 1987—91年, 1992—96年分までを刊行。遡及データベースと冊子体刊行以後の新しい図書は国際子ども図書館児童書総合目録で検索できる。

### (3) 国立国会図書館所蔵日本関係欧文図書目録 1966—1992年 3冊

支部上野図書館旧蔵分, 昭和23—50年, 昭和51—61年と刊行された。これ以後について洋図書データベース(1986年—)から日本関係図書を抽出し“Books on Japan”を刊行している。毎号分を当館のホームページに掲載する計画もあったが, 紙媒体で継続刊行している。1985年以前の洋書目録は現在遡及入力中である。日本関係についてはほかに国際日本研究センターのデータ(<http://www.nichibun.ac.jp>)があり, 当館の所蔵文献よりも純粋な学術研究書が多い。

### (4) 新編帝国図書館和古書目録 東京堂出版 1985年 3冊

当館の和古書の書名目録。近年に新しく収集した古書は収録されていない。当館所蔵の古典籍資料はデジタル化を進めている。当館所蔵の主として江戸期の錦絵(浮世絵), 本草関係の彩色のある典籍などはWeb上の貴重書画像データベースで公開している。

### (5) 参考書誌研究 国立国会図書館専門資料部編 日本図書館協会発売

当館の蔵書目録からは取出しにくい資料群を資料に応じて編成した中小の文献目録を収載している雑誌。下記の書誌がよく利用される。とくに50号には当館所蔵の戦前期に出版された展覧会のカタログの一覧が掲載されている。なお, 戦後に刊行された展覧会のカタログの目録には『東京都現代美術館所蔵展覧会カタログ目録 1999年3月末現在 日本語(本文編・索引編)』(同館編・刊 2000—2001年 2冊)がある。

20号: 江戸期以前紀行写本・版本目録, 34号: 国立国会図書館所蔵聖書目

録, 37号: 会社信用録目録—明治・大正・昭和前期—, 40号: 江戸期以前  
寺社縁起関係目録, 50号: 国立国会図書館所蔵戦前期美術博覧会関係資料  
目録 (特集), 51号: 国立国会図書館所蔵近世日本画譜目録

## [2] 所蔵機関調査 (総合的な目録)

### (6) 他の機関の各種蔵書目録

参考図書室に一部を開架しているが, 所蔵目録を紙媒体で作製する機関が  
減少し, OPAC や CD-ROM 版が中心となってきている。

### (7) 国書総目録 補訂版 岩波書店 1989~1991年 9冊

初版は1963—76年。江戸期以前の日本人の著作を収録。角書 (つのがき),  
別書名, 活字本の刊行状況も確認ができる。書名の五十音順の排列で, 編著  
者名別の索引があり, 苗字は一般的な読みで排列し, 名は音読みの五十音順  
に排列されており, 例えば, 「山科言国」はヤマシナ・ゲンコク, 「山科言継」  
はヤマシナ・ゲンケイで, 音読みにすると排列順が違うので注意を要する。  
また, 書名の読みが不明の場合には『国書読み方辞典』(植月博編 おうふう  
1996年 1冊)があり, 書名の先頭漢字の総画から検索ができる。

### (8) 古典籍総合目録 国文学研究資料館編 岩波書店 1990年 3冊

『国書総目録』の続編。(7)の刊行後に出版された各機関の目録に収載され  
ている資料を掲載。国文研 <http://www.nijl.ac.jp> のデータベースで目録の検索  
ができる。

### (9) 新収洋書総合目録 1958~1990年 国立国会図書館 70冊

1954—83年版, 1954—1970年追補, 1984—1987年版。当館では1987年版を  
最後に編纂を中止した。現在では国立情報学研究所の <http://webcat.nacsis.ac.jp>  
がある。

### (10) 学術雑誌総合目録 和文編1996年版 (丸善 1997年 8冊), 欧文編1998年 版 (丸善 1999年 7冊)

和文編・欧文編データを統合した CD-ROM 版 (2枚) が丸善から刊行さ  
れた。定価は40,000円 (冊子体購入者は15,000円), 収録雑誌数は約22万件。

## [3] 書誌的事項調査

### (11) 日本全国書誌 国立国会図書館 週刊

国立国会図書館法によって編纂刊行が義務づけられている。国内の刊行物  
で当館に納本された資料—和図書, 逐次刊行物, 非図書資料 (地図, CD-

ROM等)一を収載している。2002年4月からは当館ホームページにも搭載される予定である。

(12) 各国の全国書誌

全米総合目録, 英国, フランス, イタリアなど各国の冊子体の総合目録や全国書誌を目録ホールに備えている。

(13) 日本書籍総目録 日本書籍出版協会 年刊

毎年の6月現在で書店で入手可能な図書を収録。<http://www.books.or.jp>でも検索が可能になったが, すべての出版社の図書が収録されていない。

(14) 出版年鑑 出版ニュース社 年刊

以前は1冊本で, 1997年版からは3冊本。前年の出版界の概観を知ることができる年鑑。1巻「資料・名簿」には, 出版界の1年間のニュースや統計, 1946年からのベストセラー等の基本資料, 五十音順の出版社一覧・関連機関の一覧を収録。2巻「目録」には, NDC分類順の1年間の出版物一覧を掲載。3巻「索引」には2巻に収録した書名, 編著者名一覧を収録。

(15) Book page ブックページ刊行会 年刊

別書名: 本の年鑑。1988年に創刊。毎年1月から12月までに刊行された新刊書を詳細な事項別分類に収録している。記載事項は, 書誌の事項と各図書の要旨や目次が掲載されており, 各図書の内容がある程度判断できる。

(16) 明治・大正・昭和翻訳文学目録 国立国会図書館編 風間書房 1959年1冊

明治から昭和30年までの文学書で日本語に翻訳された図書を作家別に収録。

(17) 翻訳図書目録 45/76, 77/84, 84/88, 88/92, 92/96, 1996/2000  
日外アソシエーツ 1984~2001年 20冊

日本語に翻訳された図書の一覧で, 各年代とも総記・人文・社会, 科学・技術・産業, 芸術・言語・文学の3~4分冊で刊行。CD-ROM版も刊行されている。

(18) 全集・合集収載翻訳図書目録 45/75, 76/92 日外アソシエーツ 1995~1996年 6冊

(17)と同様の形式で全集や選集などに掲載された翻訳図書を著者名から検索できる。

(19) 全集・叢書細目総覧 第1巻古典編・古典編続 国立国会図書館 1989年3冊

明治から昭和60年（1985年）の間に刊行された全集や叢書のうち、幕末までの日本人の著作の内容細目を収録。(7)(8)には活字本の刊行年の記載がないことと、(7)の出版以後に刊行された活字本や複製版を調べるのに有用である。また、当館が編集したので当館の請求記号が掲載されている。

- (20) **全集叢書総覧** 新訂版 書誌研究懇話会編 八木書店 1983年 1冊

明治初年から昭和56年（1981年）までに出版された全集・叢書・講座の一覧で、出版社、刊行年、巻数等を収録。また、類似した資料名の確認ができる。

- (21) **雑誌新聞総かたろぐ** メディア・リサーチ・センター 年刊

分野別の雑誌・新聞の一覧。発行者の住所、発行部数、読者層などが掲載されている。最新情報としてCD-ROM版『季刊書誌ナビ』が作成されている。

#### [4] 簡易な事実調査

##### 基本的な辞書

##### 百科辞典

最近ではCD-ROM版、Web上での辞典が主流になってきている。

- (22) **古事類苑** 神宮司序蔵版 吉川弘文館 52冊

明治時代に編集・刊行された主題別の百科事典で、現在でも縮刷普及版を刊行しており、必要な巻だけを購入することも可能。日本古来の事物や事象、例えば節分や雛祭りなどの年中行事について、各種の古文献から関連記事を集めて歴史的な経緯を説明している。これに収録されていない事物・現象については資料として存在しないことのみになる。別巻には内容を一覧できる「総目録」と事項からの検索ができる「索引」があるが、「索引」の事項は歴史的仮名遣い（例えば蝶ちようちよう々はテフテフ）で編成されているので気をつける必要がある。

- (23) **現代用語の基礎知識** 自由国民社 年刊

創刊が1948年で、分野別に新しい外来語、流行語、ジャーナリズムでよく使われる事項を収録。巻頭に「全用語索引」を付す。類似の『イミダス』（創刊1987年 集英社）、『知恵蔵』（創刊1990年 朝日新聞社）もある。

- (24) **Kodansha Encyclopedia of Japan.** Kodansha, 1983—86年 10冊

日本に関する英文の百科事典。このほか“**Japan : an illustrated encyclopedia**” (Kodansha 1993年 1冊) がある。

## 国語辞書

国語事典では、収録した語が現代語、方言、固有名詞（地名、生存者、物故者）、専門用語等のような語を中心に編集しているのか、収録した語数などが辞書の性格や特徴となる。

(25) **日本国語大辞典** 小学館 1972—76年 20冊（縮刷版 1981—84年）

第2版（全13巻）が2000年11月から刊行されている。国語辞典としては収録語彙数は最大である。収録語は古語から現代語まで、人名や地名等の固有名詞や専門用語を含む約45万語。用字用法の例は、古代から現代までの歴史的経緯にそって記述され、ある言葉が最初に使用されたと思われる資料の出典を確認できる。別冊パンフレットには主要出典一覧がある。

(26) **カラー版日本語大辞典** 第2版 梅棹忠夫他編 講談社 1995年 1冊

日常身近な現代語を中心として専門用語、固有名詞、その他よく用いられる基本漢字約1万字を含む約20万語を収録。写真や図版を多く収録しており、百科辞典としての性格も備えている。本体の購入者には有料でCD-ROM版を頒布。

(27) **広辞苑** 第5版 岩波書店 1998年 1冊

単なる国語辞典ではなく、学術専門語、固有名詞を含む百科全般にわたる語を収録。人名については物故者に限定。ことばの定義を簡明に表現することを主眼として編集。約23万語を収録。この版では約6千の漢字を項目として取り上げている。普通版、机上版、CD-ROM版がある。

(28) **大辞林** 第2版 松村明他編 三省堂 1990年 1冊

現代語を中心に古語、固有名詞や百科万般の広い分野から収録。熟語として用いられる漢字約3千を含む約23万語。CD-ROM版『スーパー大辞林』がある。

(29) **学研国語大辞典** 第2版 金田一春彦他編 学習研究社 1990年 1冊

(30) **広辞林** 第6版 三省堂 1984年 1冊

初版は1925年で、現代語を中心に主要な古語、固有名詞等合わせて約16万語を収録。

(31) **新潮現代国語辞典** 第2版 山田俊雄等編 新潮社 2000年 1冊

新しい言葉の解釈を多く掲載。現在一般的に使用されている日本語で新しい言葉の意味を収録している辞書として『新明解国語辞典』5版（三省堂1997年）がある。

## 漢和辞典

見たこともないような漢字や熟語の出典を確認する場合は (32) が役立つ。しかし、あまり大部なため、使い勝手は (33) のほうがよい。

(32) **大漢和辞典** 修訂第2版 諸橋轍次他編 大修館書店 1989～1990年  
13冊

現在、修訂第2版が最新版。親字が約5万、語数が約53万と漢和辞典としては最大の辞書。熟語は中国の古典や詩などから数多く収録しており、出典の調査の手掛かりとなる。この辞典には熟語の五十音順から引ける熟語索引(1990年1冊)を付す。なお、補巻(2000年1冊)が刊行されて、全15冊になっている。

(33) **広漢和辞典** 大修館書店 1981—1982年 4冊

(32)の中から基本的な漢字を約2万余字収録した辞書で、現代の熟語約12万語を収録。

(34) **字統** 白川静著 平凡社 1984年 1冊

漢字の構造から字の初形と初義を明らかにした字原字書で、約6,800字を収録。「白川文字学」といわれている白川静氏の漢字の構造を解説した、字の原の字書

(35) **字訓** 白川静著 平凡社 1987年 1冊

漢字を国字として使用し、その訓義が定着していった過程を解説した字典で、古事記、日本書紀、万葉集等の上代から使用されていた漢字約2,200字を収録。

(36) **講談社新大字典** 上田万年他編 講談社 1993年 1冊

親字約2万1,000、国字を多く収録。熟語の例も国文系の語句が多い。

(37) **大漢語林** 鎌田正他編 大修館書店 1992年 1冊

親字約1万4千を収録。異体字、国字を多く収録。熟語は中国の古典、仏典からの採録が多い。索引として『大漢語林語彙総覧』(鎌田正他編 大修館書店 1993年 1冊)が別売されており、大漢語林に収録された語彙を五十音順で検索できる。

(38) **学研漢和大字典** 藤堂明保編 学習研究社 1987年 1冊

約1万1千字を収録。熟語は中国の古典、仏典からの採録が多く約7万語。

(39) **角川新字源** 改訂版 小川環樹他編 角川書店 1996年 1冊

約1万字を収録。熟語は約6万語で基本的なもの。同音同義の異体字を同一箇所にとまとめてあり、旧字と新字の確認などの文章の校正に便利である。

また、中国現代語の発音が付されているので、中国人の名前を欧米の目録などを調べるときに漢字からスペリングを確認することができる。

(40) **角川書道字典** 伏見冲敬編 角川書店 1993年 1冊

一つの漢字について、隸書や楷書等の五体を総合的に収録した字典で、碑文や蔵書印譜等の字を調べるのに利用できる。

(41) **宛字外来語辞典** 柏書房 1997年 1冊

外来語の人名や地名などに漢字の音訓をあてはめた表記を収録。例えば、「埃及」「麦西」はエジプト、「桑港」はサンフランシスコ、「海牙」はハーグと確認ができる。

### 歴史辞典

歴史辞典は、国語辞典のような言葉の意味や用法は収録されていないが、地名、人名、各種の事象など百科辞典の要素もあるので項目を立てた。

(42) **国史大辞典** 第1—15巻 吉川弘文館 1979—1997年 17冊

考古学・民俗学・書誌学・古文学書学等の隣接諸分野の項目を収録。各項ごとに参考文献が記載されており、調査の手掛かりとなる。第15巻上・中・下(3冊)の史料・地名・人名の詳細な索引は関連項目を探すのに有用である。例えば、日本の山賊・海賊について探したい場合、辞書の本体には山賊・海賊の項はないが、索引で「山賊」の項を調べると、日本史の用語である「悪党」を参照できるようになっている。

(43) **日本史大事典** 平凡社 1992—1994年 7冊

収録項目は具体的な事象や人名ばかりではなく百科辞典的な項目も含む。参考文献には刊行年の記載があり、(42)より簡単に該当文献にたどりつける。

(44) **日本史広辞典** 山川出版社 1997年 1冊

中型の日本史辞典で約4万4千項目を収録。

(45) **岩波日本史辞典** 永原慶二・石上英一ほか編 岩波書店 1999年 1冊

(44)と同様の中型の辞典。巻末に事項索引のほか、附録として「日本史備要」があり、『読史備要』や(115)、(116)のコンパクト版として利用できる。

(46) **日本近現代史辞典** 東洋経済新報社 1978年 1冊

幕末から1975年頃までの事項を収録。巻末の付録には、「府藩県対照表」「歴代内閣一覧」など各種の一覧や図表が掲載されている。

## 地名辞典

- (47) **角川日本地名大辞典** 角川書店 1978—1990年 49冊

現在の行政区分により構成されている各都道府県別に1冊づつ刊行された辞典。別巻Ⅱ「日本地名総覧」では、本編に収録した地名を五十音順に排列した一覧となっている。調べたい地名がどこの県にあるかがわからない場合には(48)のほうが便利である。

- (48) **コンサイス日本地名事典** 第4版 三省堂 1998年 1冊

五十音順の簡易な地名事典。

- (49) **大日本地名辞書** 増補版 吉田東伍著 富山房 1969—1971年 8冊

初版は1900年—1909年(明治33—42年)。旧国名別に構成され、古典籍、歌舞伎や古典文学の作品に見られる地名を収録。現在の地名辞書に収録されていない古い地名を調べるのによい。

- (50) **日本歴史地名体系** 平凡社 1979年— 刊行中

各都道府県について1冊から2冊で刊行されている。歴史的、文学上の地名のほかに遺跡の名称等をも収録。各巻末にある索引には寺社や遺跡などの名称も収録。

- (51) **古代地名大辞典** 角川文化振興財団編 角川書店 1999年 2冊

(47)の編集成果をふまえ、さらに新しい研究成果を加えて編集。文治元年(1185年)までの史料に見える歴史的地名と自然地名を収録。「本編」では地名の五十音順に排列し、時代規定、地名の種類、所属国郡名、別称など、また典拠史料を掲載。「資料編」では立項した地名や解説文中に見えている地名を収録した五十音順の索引、国郡分と都道府県別の立項項目一覧、難読項目一覧などを収録。

- (52) **日本文学地名大辞典** 詩歌編 大岡信監修 日本文学地名大辞典刊行会編 遊子館 1999年 2冊

和歌、短歌、連歌、俳句、近代詩によく出てくる地名(外国や想像上の地名も含む)を取り上げて、五十音順に収録。記載事項は地名の解説、用例、歌枕等のほか地名を読みこんだ作品など。『日本うたことば表現辞典』(全9冊)の姉妹編。

## 人名辞典・人物情報

最近活躍するようになった人物の情報や最近死亡した人物の情報については、日外アソシエーツ(<http://www.nichigai.co.jp>)などが有料で情報を提供して

いる。

- (53) **新編姓氏家系辞書** 太田亮著 丹羽基二編 秋田書店 1979年 1冊  
日本の昔からある姓氏を中心に、その姓氏が資料に現れた時代や地域などについて、史料や各地にあった系図をもとに解説した姓氏の事典。
- (54) **日本人名大事典** 平凡社 1979年 7冊  
本編は『**新選大人名辞典**』（1936—1941年）の補訂。現代編のみを新しく編集・刊行したもの。
- (55) **新潮日本人名辞典** 新潮社 1991年 1冊  
古代から現代人まで架空伝承人名を含む約1万8千人を収録。
- (56) **現代日本朝日人名事典** 朝日新聞社 1990年 1冊  
昭和時代に活躍した人物を中心として、現在活躍中の人物を含む1万人を収録。
- (57) **朝日日本歴史人物事典** 朝日新聞社 1994年 1冊  
(56)の収録対象以前の人物約1万3千人を収録。活躍年代が重なる人物については両方の辞典に記述を変えて収録。
- (58) **コンサイス日本人名事典** 改訂新版 三省堂 1994年 1冊  
約1万4千人を収録。小型で記述が簡単であるが、人名の読み方、略歴、活躍年代などを確定する場合に便利である。
- (59) **角川日本姓氏歴史人物大辞典** 角川書店 1989年— 刊行中  
(47)『**角川日本地名大辞典**』の姉妹編で、各都道府県別に各地域の特徴的な姓氏を説明し、また、地域の有名人を紹介した辞典。
- (60) **現代日本人名録** 1987, 1990, 1994, 1998 日外アソシエーツ 1987—1998年 14冊  
現在、日本で活躍している人物を収録。2000年版はCD-ROM版もある。また、日本人、外国人の最新情報を加えた人名情報をデータベース化して、有料で提供している。
- (61) **現代外国人名録** 1992, 1996, 2000 日外アソシエーツ 1992—2000年 3冊  
日本の新聞・雑誌・図書に執筆者として、あるいは記事中に登場した日本になじみの深い人物を収録。1992年版には物故者を含む約1万7千人を採録。1996年版には1992年以後に経歴などに変化があった約7500人と新たに約1万2500人を採録。2000年版には1996年以降変化のあった人物約1万6千人を収録。

(62)号・別名辞典 日外アソシエーツ 1990—1994年 2冊

日本人の号や別名を集めた辞典。古代～近世編では約6,000人について1万7千の別名と号を収録。近代・現代編では約7,200人について1万3,400の別名と号を収録。構成は号や別名を見出しとして、号・別名の最初の漢字(親字)を音読みにして五十音順に排列。巻頭には、親字をさがすための「音読みガイド」と「総画順ガイド」があり、巻末には「姓名から引く号・別名一覧」がある。収録されているのは比較的有名な人物であり、網羅性はない。

(63)国書人名辞典 岩波書店 1993—1998年 5冊

『国書総目録』の「著者名索引」に取り上げた伝記の判明した人物、約3万人を収録。生没年、名号、家系、経歴、著作について記述。第5巻に収録されている「索引」では、立項された人物名の通称、字、号、法号などの先頭漢字の音から検索ができる。例えば、「嘉陵」については村尾嘉陵という人物であることがわかる。この人物は号が嘉陵、名は正靖、字が伯恭、通称が源右衛門、法号が正靖居士晴雲信士、幕臣で、『江戸近郊道しるべ』などの著作がある。

(64)近世漢学者伝記著作大事典 関儀一郎他編 井上書店 1981年 1冊

日本の学者約2,900人を収録。巻末に漢学者系統図がついている。類書として、『漢文学者総覧』(長澤規矩也監修 汲古書院 1979年 1冊)がある。この総覧では修姓から本姓を確定できる。例えば、「田」の部分に掲載されている修姓「田大観」は、「田中大観」と参照があり、「田大観」が田中大観であることわかる。

(65)和学者総覧 國學院大學日本文化研究所編 汲古書院 1990年 1冊

慶長年間から明治初期頃まで活躍した、天皇・親王などの皇族を除く、歌学、歴史、有職、漢学、狂歌師、俳諧師などを含む人物を収録。姓名を見出しとして五十音順に排列し、姓名、別称、生国、没年、享年、学統、参考文献を収録。見出しの人名によみがふられている。索引は全画から引く「姓名欄頭字検索一覧」と五十音順の「名称索引」がある。

(66)日本史人名よみかた辞典 日外アソシエーツ 1999年 1冊

古代から幕末までの架空の人物を含む人名約6万8千人を収録。先頭の漢字(親字)の画数順に排列。「親字一覧」と「親字音訓ガイド」がある。

(67)海を越えた日本人名事典 富田仁編 日外アソシエーツ 1985年 1冊

渡航の目的や活動分野について説明がある。

(68)来日西洋人名事典 増補改訂版 日外アソシエーツ 1995年 1冊

大正時代までに来日した人物を中心に採録。

- (69) **研究者・研究課題総覧** 学術情報センター監修 1996年 9冊  
国公立，私立の大学や短期大学，高等専門学校，大学附属の研究所，文部省管轄の研究所に所属している研究者約13万人を分野別に区分して収録。CD-ROM版も刊行されている。
- (70) **現代日本執筆者大事典** 1965/76，1977/82 日外アソシエーツ 1978—1986年 10冊
- (71) **新現代日本執筆者大事典** 1983/92 日外アソシエーツ 1992—1993年 5冊  
(70)の改題で，各分野で執筆活動をした人物を選択して，略歴，業績，連絡先等を掲載。
- (72) **職員録** 上，下 財務省印刷局 明治19年— 年刊  
上巻：国の機関・特殊法人 下巻：都道府県・市町村  
組織別に係長程度以上の役職の職員を収録している。戦前期は甲と乙に区分。
- (73) **日本紳士録** 第76版 交詢社出版局編 ぎょうせい 2000年 1冊  
創刊が1889年（明治22年）。現在，政財界等で活躍中の人物，約9万人の略歴等を紹介。
- (74) **人事興信録** 第40版 興信データ 1999年 2冊  
創刊が1903年（明治36年）。約11万人を収録。(73)よりも収録した人物の家族構成の記載が詳細である。
- (75) **ダイヤモンド会社職員録** ダイヤモンド社 年刊  
戦前期は1935年（昭和10年）から1943年まで，戦後は1950年から刊行された業界別・会社別の会社役員の名簿。CD-ROM版のほか，最新情報のデータベースサービスもある。
- (76) **全国大学職員録** 国公立大学編，私立大学編 広潤社 年刊  
都道府県別に北海道から沖縄まで大学ごとに学長，教授，助教授，専任講師，大学職員等を収録。巻末に五十音順の人名索引を付す。
- (77) **日本洋学人名事典** 武内博編著 柏書房 1994年 1冊  
蘭学者を中心として明治初期までに日本の近代化のために活躍した人物を収録。主要な洋学者門人帳，活動分野，出身地別索引が付されている。

## 各種団体関係

- \* (78) **全国各種団体名鑑** 2001年版 (第20版) シバ 3冊  
創刊が1965年。分類別に各団体の所在・設立年・事業内容・刊行物・役員等を記載。類書の『**全国団体名簿 平成13年度版**』(日刊工業新聞社 2000年1冊)がある。
- \* (79) **学会名鑑** 2001—3年 日本学術協力財団 ビュープロ 2001年1冊  
『**全国学術研究団体総覧**』平成8年(日本学術協力財団編 1996年 1冊)の改題。日本の学術系学会(約1600機関)の一覧で、所在地、略史、会員数、刊行物等の情報を収録。英文による学会名や刊行物名の記載もある。構成は学会の分野別で、巻末に五十音順の学会名索引がある。
- \* (80) **全国試験研究機関名鑑** 監修：科学技術庁 ラティス 丸善発売 隔年刊  
第1巻：国立・公立・特殊法人・学協会等 第2巻：民間企業研究開発部門 第3巻：大学・同付属研究所・高等専門学校等 別冊：研究開発支援機関英文索引。CD-ROM版も発売。
- (81) **全国大学一覧** 文部省編 文教協会 年刊  
日本の国立、公立、私立の大学の一覧。各大学の住所、略史、学部や学科、定員などを収録。『**全国短期大学・高等専門学校一覧**』もある。
- (82) **全国公益法人名鑑** 平成13年版 総務省大臣官房管理室編 公益法人協会 2001年 1冊
- (83) **特殊法人総覧** 総務庁行政管理局監修 行政管理研究センター 年刊  
公団、事業団、例えば国際交流基金などの団体の所在地、主管省庁、設置年月日、事業の目的、事業概要、事業計画の概要、組織の概要などを収録。
- (84) 各種の**業界年鑑類**
- (85) **東商信用録** 東京商工リサーチ 年刊  
地域別、会社名の五十音順で、地域によって刊行年が異なる。現在、全19冊。会社の一覧としては収録数が最大である。なお、詳細な最新の情報はデータとして有料で購入できる。
- (86) **帝国データバンク会社年鑑** 帝国データバンク 年刊  
東日本編、西日本編、索引に分冊して刊行。(85)と同様に最新の情報はデータとして有料で購入できる。
- (87) **海外進出企業総覧** 2000 会社別編、国別編 東洋経済新報社

『週刊東洋経済』の臨時増刊号。会社別編と国別編で刊行されている。

(88) **日本金融名鑑** 日本金融通信社 3冊 年刊

創刊は1960年版。政府系、都市銀行、信用金庫、信託子会社、外資系損害保険会社等を含む金融機関の一覧。種類別で機関の概要を解説。下巻末に各都道府県都市別に各機関の支店、営業所等住所を記載した「都市別店舗概要」がある。

**社会科学系の辞書、ハンドブック**

(89) 各新聞社の年鑑 朝日年鑑 世界年鑑 読売年鑑等

(90) 各種の白書類

**法律**

(91) **法令用語辞典** 第7次改訂版 学陽書房 1997年 1冊

昭和25年に初版刊行。法令用語(2,453語)を取り上げて解説。この辞典をハンディーにした『法令用語小辞典』(吉国一郎他編 学陽書房 1998年 1冊)には2,167語を収録。

\* (92) **最新法令難語辞典** 浅野一郎, 田島信威編 三省堂 1999年 1冊

法令で使われる用語及び学術用語のうち読みにくい語句、意味がわかりにくい語句など約1,300語を取り上げ解説。巻末に主要法律の条項により検索できる条文索引、総画索引がある。

**政治**

(93) **現代政治学事典** 新訂版 大学教育社編 プレーン出版 1998年 1冊

見出し語の五十音順に排列され、対応する英語を基本とした外国語が補記されている。巻末の索引は、日本語(五十音順)と外国語(アルファベット順)の事項索引、日本人名索引、外国人名索引がある。なお、日本では2001年1月6日から始まる中央省庁の新組織の案内書として、『**新中央省庁機構図**』(第一法規出版 2000年 1冊)などが出版された。

\* (94) **戦前期日本官僚制の制度・組織・人事** 戦前期官僚制研究会編 秦郁彦著 東京大学出版会 1981年 1冊

戦前期の日本における主要官僚の履歴や主要官職の任免変遷等がわかる。

(95) **世界諸国の制度・組織・人事** 秦郁彦編著 東京大学出版会 1988年 1冊

国別・国際機関別の政治・外交・軍事の主要任務在任者の一覧。

\* (96) **事典昭和戦前期の日本 制度と実態** 百瀬孝著 吉川弘文館 1990年

1冊

1926年（昭和元年）から1945年（昭和20年）までの戦前期の日本の社会や政治等の各種の制度，例えば選挙制度，学校制度，財政制度，徴兵制度等の変遷が1冊にまとめられており，制度によっては明治・大正期までさかのぼって記述されている。巻末に五十音順の事項索引を付す。

\* (97) **事典昭和戦後期の日本 占領と改革** 百瀬孝著 吉川弘文館 1995年 1冊

(96)と同じような形式で，1945年3月26日（沖縄にアメリカ軍が上陸）から1989年1月6日（昭和の終わり）までを収録。とくに占領下の改革を中心にして記述されている。現在にいたるまでの制度の変遷を知らない世代にも理解できるように配慮されている。

(98) **現代史資料 続現代史資料** みすず書房 1962—1995年 46冊，12冊

大正から昭和前期の政治や社会関係の基本史料を問題別，事件別に編集して収録。続編には索引がない。

(99) **史料日本の地方自治** 小早川光郎他編 学陽書房 1999年 3冊

1巻：明治維新から1920年代，2巻：1930年代から1950年代，3巻：1960年代から1980年代。地方自治制度に関する史料，例えば，明治4年太政官第350の「廢藩置県ノ詔書」，太政官布第170の「戸籍法」などの原文を収録。とくに法令の制定廃止に関連するものを基本的に載せている。1巻の巻末に全3巻分の年月日順の「収録史料索引」を付す。

## 軍事

\* (100) **日本陸海軍総合事典** 秦郁彦編 東京大学出版会 1991年 1冊

戦前期の主要陸海軍人の履歴，歴任者一覧，陸海軍主要学校卒業生一覧，陸海軍用語の解説を収載。

## 外交

(101) **日本外交年表並主要文書** 外務省編 原書房 1965年 2冊

1840年から1945年までの外交関係の事象の年表と主要な条約・協定を収録。

(102) **日本外交主要文書・年表** 鹿島平和研究所編 原書房 1983—1995年 4冊

(1) 1941—1960，(2) 1961—1970，(3) 1971—1980，(4) 1981—1992で，(101)の資料と同様の構成で，収録されている文書は日本語と原文の両方を載せている。

## 経済・産業

- (103) **最新産業情報ガイド** 中小企業金融公庫編 東洋経済新報社 1990年  
1冊

『産業情報ガイド』1981年刊行の改訂版。主として中小企業の多い産業の業界の情報源を収録。統計、業界の雑誌・新聞、参考文献、関係団体一覧等を各業界ごとに収録している。

- (104) **ビジネス調査資料総覧** 2001 マーケティングデータバンク 2000年 2冊

ビジネス系の調査に必要な資料、機関、調査報告等の情報を収録。別売のキーワードインデックスもある。また、新しい情報を収録した月刊の『ビジネス調査資料総覧月報』も刊行されている。

- (105) **データ & data 情報源情報 基本データ検索事典** 日本能率協会 1998年  
1冊

- \* (106) **業種別貸出審査事典** 第9次新版 金融財政事情研究会編 きんざい  
1999年 8冊

1966年に初版が刊行されて以来、8回目の改訂版。約1000業種の業界別の経営に関して、詳細な情報を収録している業界別の経営ハンドブック。銀行が貸出の審査を行う際の審査基準となる情報を網羅しており、各業種の今後の動向を知る手がかりになる資料である。

## 教育・社会

- (107) **海外の日本語教育の現状 日本語教育機関調査** 1998年 国際交流基金  
日本語国際センター 2000年 1冊

- (108) **日本教科書大系** 近代編 講談社 1961—67年 27冊

明治の初めから検定教科書制度が実施されるまでの間（戦前期）の初等教育に使用された教科書を教科別にまとめて収録。

- (109) **日本語教育施設要覧** 1999年 日本語教育振興協会 2000年 1冊

- (110) **国民生活時間調査** データブック 2000年 NHK放送文化研究所編 日本放送出版協会 2001年 2冊

最初の調査は1914年に行われ、それ以降だいたい5年ごとに調査されている日本人の生活時間に関する調査。

## 人文科学系の辞書、ハンドブック

歴史（歴史辞典を除く）

- \* (111) 年表日本歴史 第1—6巻 井上光貞他編 筑摩書房 1981—93年 6冊

現在、1988年までをカバーしている。記述項目には典拠とした文献名を提示しており、巻末には事項や人名の索引もある。

- (112) 日本文化総合年表 市古貞次他編 岩波書店 1990年 1冊

文化史上重要と思われる事象を対象にした年表で、巻末に索引と難音訓一覧がある。

- (113) 近代日本総合年表 第3版 岩波書店 1991年 1冊

ペリー来航の年代(1853年)から昭和の終わり(1989年)までの事象を収録。巻末に索引がある。(112)(113)を合わせたCD-ROM版もある。

- (114) 対外関係史総合年表 吉川弘文館 1999年 1冊

日本を中心として紀元前より1879年(明治12年)の琉球処分までの経済、政治、社会、文化など全般的な対外関係事項(約3万6千項目)を収録。各項には典拠とした資料の記載があり、巻末の「典拠一覧」から資料の書誌的事項などが判明する。

- \* (115) 日本史総覧 児玉幸多ほか監修 新人物往来社 1983—1986年 9冊  
戦前期に編集された『読史備要』より詳細な資料集で、古代の国司一覧、江戸幕府職制一覧などの古代から近現代にいたる各種の諸表、系図などの一覧を収録。

- (116) 日本史資料総覧 東京書籍 1986年 1冊

出版社が違うが、(115)をコンパクトにしたもの。

- \* (117) 藩史大事典 木村礎ほか編 雄山閣出版 1988—1990年 8冊

地域別、各藩ごとに編成されている。第8巻が史料・文献総覧、索引になっており、江戸時代の地方史の文献目録としても利用できる。

- \* (118) 日本史文献解題辞典 加藤友康、由比正臣編 吉川弘文館 2000年 1冊

『国史大辞典』に収録した項目の中から、文書、記録、典籍、金石文、新聞、雑誌など日本史研究の上で重要と思われる史料を項目として取り上げて加筆、改稿をして、さらに新しい項目も追加して、項目の五十音順に排列。巻末に典籍索引、人名索引、事項索引を付す。

- (119) 地方史文献総合目録 阿津坂林太郎編 巖南堂書店 1970—75年 3冊

戦前期と戦後期に分け、地域ごとに市史、県史などを県別に区分して収録。所蔵の記載がある。戦前期に刊行された郡史などの書名の確認に役立つ。

- (120) **全国市町村史刊行総覧** 名著出版編集部編 名著出版 1989年 1冊

全国の自治体が編集・刊行した各自治体の歴史を都道府県別に収録。1988年3月末までの調査による。(119)に収録されている、戦前期に刊行された資料や明治末から大正期にかけて刊行された「○○郡史」等、また、その複製版(昭和40年代以後に刊行されたもの)が収録されていない。

- (121) **日本近現代史研究事典** 鳥海靖, 松尾正人, 小風秀雅編 東京堂出版 1999年 1冊

各研究分野について、事項の概要, 研究史, 研究の現状, 今後の研究課題などを解説。時代別の研究事典は、『日本古代史研究事典』(阿部猛他編 1995年 東京堂出版 1冊), 『日本中世史研究事典』(佐藤和彦他編 1995年 東京堂出版 1冊)がある。

### 民俗学

- \* (122) **日本年中行事辞典** 鈴木棠三著 角川書店 1977年 1冊

公家社会, 武家社会の年中行事, 各種の祭礼等の民間行事, 家庭行事など長年にわたりおこなわれてきた行事について解説したもの。月別日付順に編成。

- \* (123) **日本俗信辞典** 動・植物編 鈴木棠三著 角川書店 1982年 1冊

日常の迷信や民間信仰等について動物と植物の五十音順に解説がされている。

- \* (124) **日本民俗大辞典** 福田アジオ他編 吉川弘文館 1999—2000年 2冊

文化人類学, 民族学, 国文学等の関連諸分野を含む。下巻に索引を付す。類書として、『日本民俗宗教辞典』(佐々木宏幹他監修 東京堂出版 1998年 1冊)がある。

### 宗教

- (125) **宗教年鑑** 文化庁編 ぎょうせい 年刊

宗教法人の監督官庁である文化庁が毎年刊行している日本の宗教行政に関する報告書。日本の宗教の概要, 宗教統計, 宗教法人一覧を収録。

- (126) **新宗教ガイドブック** 改訂最新版 新宗教研究会著 ベストブック 1998年 1冊

各宗教団体に関する案内で、この版では99団体を収録。初版1987年, 1990年, 1995年の版がある。

- (127) **新宗教教団・人物事典** 井上順孝他編 弘文堂 1996年 1冊

幕末維新から今日に至る時期に形成された教団を中心として、その創始

者・リーダー等について取り上げている。

\* (128) **神道事典** 國學院大学日本文化研究所編 弘文堂 1994年 1冊

9つの大項目からなり、それぞれの項目に応じて中小の項目が立てられており、大項目には、それぞれの内容に関連した文献案内があり、さらに巻末に文献目録がついている。縮刷版(弘文堂 1999年 1冊)が刊行されている。

(129) **岩波仏教辞典** 中村元他編 岩波書店 1989年 1冊

一般人向きの辞書で、戦後の研究成果が盛り込まれている。CD-ROM版もある。

\* (130) **仏教学辞典** 多屋頼俊他編 宝蔵館 1995年 1冊

(129)と同様にコンパクトであるが、より専門的観点から解説がされている。

\* (131) **仏教語大辞典** 縮刷版 中村元著 東京書籍 1983年 1冊

仏教の用語を現代語で表現解説したもので、人名や地名などの固有名詞は採録されていないが、日本の古典などに用いられている仏教用語は収録されている。語句の典拠を探すのに便利である。

(132) **訂正日本天台宗年表** 第一書房 1999年 1冊

原本は昭和12年(1937年)刊行。昭和48年(1973年)に刊行した複製版の再版。

\* (133) **日本仏教史辞典** 今泉淑夫編 吉川弘文館 1999年 1冊

『国史大辞典』から仏教関連の項目を取り出し補記・訂正を加え、そのほか仏教史関係の項目を加えて編集した辞典。約4,700項目を掲載。仏典、法会、僧侶やその日記、寺院建築、考古学的遺跡、仏教芸術、仏教民俗や民間信仰などまでを幅広く収録の対象としている。巻末の付編として「図像」「國師号一覧」「禪師号一覧」「禪僧別号一覧」があり、索引は五十音順の事項索引。

\* (134) **仏書解説大辞典** 小野玄妙編纂 大東出版社 1980—1988年 15冊

戦前期までに刊行された仏教関係の資料の解説書で、所蔵館の記載がある。縮刷版(改訂5版の複製 1999年 大東出版社 1冊)が刊行された。これには旧版の4ページ分が1ページに収められているが、別巻仏典総論(第14巻)と著者別書名目録(第15巻)は収録されていない。

(135) **日本仏教典籍大事典** 金岡秀友他編 雄山閣出版 1986年 1冊

明治維新前までの日本の仏教典籍を収録して解説したもの。

(136) **大蔵経全解説大事典** 鎌田茂雄他編 雄山閣出版 1998年 1冊

『大正新脩大蔵経』に収録されている順にその全典籍について解説をした事典。記載事項は、經典の成立・内容、関連典籍、訳者・訳年代、参考文献。

- 巻末に五十音順の典籍索引を付す。付編には「主要著者・訳者解説」「大蔵経と日本古典文学」「大蔵経と仏教美術（大蔵経図像部出典一覧表）」がある。
- (137) **市町村区分による全国寺院大鑑** 法蔵館 1991年 3冊  
 全国の寺院の一覧で、住所、住職の名前、電話番号を記す。
- (138) **日本キリスト教歴史大事典** 日本キリスト教歴史大事典編集委員会編  
 教文館 1988年 1冊
- (139) **新キリスト教辞典** いのちのことば社出版部 1991年 1冊

## 芸術・美術

- (140) 各分野の年鑑類 映画年鑑 美術年鑑 音楽年鑑等
- (141) **最新文化賞事典** 日外アソシエーツ 1996年 1冊  
 日本で、現在贈られている文化系の賞の一覧と賞の解説で、各回の受賞者関係の情報を収録。このほか『最新美術・デザイン賞事典』（1990年刊、1997年刊）、『最新文学賞事典』（1989年刊、1994年刊、1999年刊）がある。
- \* (142) **日本美術作品レファレンス事典** 絵画篇近世以前、絵画篇近現代、絵画篇浮世絵、彫刻篇、陶磁器篇Ⅰ：日本の陶磁、陶磁器篇Ⅱ：中国・朝鮮の陶磁、陶磁器篇Ⅲ：現代日本の陶芸、書跡篇：日本の書 日外アソシエーツ 1992—2001年 8冊  
 作品名から特定の絵画、浮世絵、彫刻、書、陶磁器などの図版が収録されている美術全集と収録個所を調べることができる。
- (143) **国宝・重要文化財総合目録** 美術工芸品 国宝・重要文化財目録編纂会編 ぎょうせい 1999年 2冊  
 1998年6月現在で、国有品、都道府県別で所蔵機関（者）ごとに、国宝、重要文化財の順に収録。下巻に五十音順の所蔵機関（者）の一覧がある。
- (144) **国宝・重要文化財大全** 文化庁監修 毎日新聞社 1997—2000年 13冊  
 1巻：絵画上、2巻：絵画下、3巻：彫刻上、4巻：彫刻下、5巻：工芸品上、6巻：工芸品下、7巻：書跡上、8巻書跡下、9巻：考古資料、10巻：歴史資料、11巻：建造物上、12巻：建造物下、別巻：所有者別総合目録・名称総索引・統計資料。平成9年6月までに指定されたものを収録。なお、『**国宝大事典**』（講談社 1985—1986年 5冊）には収録した宝物の詳細な解説がついているが、この大全には解説がない。
- (145) **人間国宝事典 重要無形文化財認定者総覧** 最新版 芸艸堂 2000年 1冊

前版（1998年刊）と2000年6月までに新たに指定された工芸技術及び認定された保持者・保護団体を追加して刊行したもの。

- \* (146) **くずし字辞典** 波多野幸彦監修 東京手紙の会編 思文閣出版 2000年 1冊

主として鎌倉期から江戸初期の天皇、公卿、武将、僧、茶人、町人などの自筆書状からくずし字を採集し、漢字の部首順に排列されている。巻末に「ありがたく候」「よろしく」などの「慣用・連綿」の部分、花押が紹介されている。このほか、総画索引、音訓索引、人名略伝がある。このほか、『くずし字用例辞典』新装版（児玉幸多編 1993年 1冊）がある。

- (147) **角川茶道大事典** 林屋辰三郎他編 角川書店 1990年 2冊

茶道文化を各方面からとらえて解説したもので、図版を多く取り入れており、参考文献の記載がある。

## 芸能

- (148) **日本舞踊図鑑** 郡司正勝、龍居竹之介監修 国書刊行会 1999年 1冊

現在よく演じられる主要演目171曲を、1曲を見開き頁で、カラー写真で振りつけを紹介し、曲や踊りの背景などの解説を収録。巻末に五十音順の「名題・俗称索引」がある。

- \* (149) **歌舞伎事典** 新訂増補 服部幸雄、富田鉄之助、末廣保編 平凡社 2000年 1冊

1983年に刊行された本と同一の構成で、収録記事に最新の情報を加えて全面的に書き直して刊行したもの。

- (150) **歌舞伎の舞台技術と技術者たち** 日本俳優協会編 八木書店 2000年 1冊

「裏方さん」といわれる、道具、舞台装置、衣裳などを担当する歌舞伎の舞台を支える技術者の一覧とその技術に関する解説を収録。

- (151) **東都噺家系図** 橘左近著 筑摩書房 1999年 1冊

初代三笑亭可楽から現代までの江戸・東京の噺家の名跡百系統を、歴史上に登場する順に掲載し、解説を加えたもの。

## 文学

- \* (152) **日本古典文学大辞典** 岩波書店 1980—1985年 6冊

- \* (153) **日本近代文学大事典** 日本近代文学館編 講談社 1977—1978年 6冊

- \* (154) **新潮日本文学辞典** 磯田光一他編 新潮社 1988年 1冊

『新潮日本文学小辞典』の解題増補改訂版。

- (155) **ポケット日本名作事典** 新版 小田切進, 尾崎秀樹監修 平凡社 2000年  
1冊

1981年に刊行された版の改訂版。20世紀を代表する文学作品について、各作品の内容を解説したもの。巻末に上代から1997年までの「日本文学年表」、この事典に取り上げた「作家索引・略歴」を付す。

- (156) **新編和歌の解釈と鑑賞事典** 井上宗雄, 武川忠一編 笠間書院 1999年  
1冊

上代の記紀歌謡から現代短歌までの代表歌人335人を取り上げ、その作品843首の鑑賞を収める。排列は時代順で、歌人の略伝、作品の歌意、表現、語釈のほか歌碑などの文学的散歩事項も載せている。巻末に「初句索引」「歌人別索引」「主要語句・事項索引」がある。

- (157) **現代短歌大事典** 篠弘, 馬場あき子, 佐々木幸綱監修 三省堂 2000年  
1冊

明治からの短歌史を概観することを意図して約1,500項目を選択して解説を付した事典。項目は、歌人、評論家、事項、歌誌、歌論、結社、短歌用語など。類書として、『**岩波現代短歌辞典**』（岩波書店 1999年 1冊）があり、1,329語の歌ことばならびにその解説、530項目の用語、事項、人名、書名、結社名、雑誌名の解説を収録。

- \* (158) **俳文学大辞典** 角川書店 1996年 1冊

連歌、俳諧、川柳を含む事項を収録。

- (159) **日本随筆索引** 正・続 太田為三郎編 岩波書店 1963年 2冊

初版は大正15年と昭和7年刊。明治以前に著述された随筆（江戸期が多い）の記述事項を項目として歴史的仮名遣いの五十音順に排列した索引。随筆が書かれた時期に話題となった事象、流行した食べ物、人物の評判などが収録されている随筆を検索できる。この索引を作成するのに使用した資料の一覧が「収録書目」で、各資料について活字本となった文献の紹介、写本の場合には所蔵館の記載がある。

## 書誌学

- \* (160) **日本古典籍書誌学辞典** 岩波書店 1999年 1冊

古典籍の用語を基本として、著名な古写本、古筆、蔵書家などの解説を収録した古典籍に関するハンドブック。約3,400語を収録し、見出し語の五十音順に排列。巻頭に「分野別項目一覧」と、巻末に五十音順の索引がある。

なお、古典籍に時々見られる旧所蔵者の印を調べるための図書として、『新編蔵書印譜』（渡辺守邦・後藤憲二編 青裳堂書店 2001年 1冊）がある。

### 科学技術系の辞書、ハンドブック

(161) 7カ国語科学技術用語辞典 朝鮮民主主義人民共和国科学院編 クレス 1989年 9冊

物理数学，電気電子，原子力，金属工学，機械工学，地質地理学，化学，鉱業，生物学の各分野に分かれて，英語を基本として仏露独中国日本朝鮮の各語に対する各語を収録。一冊ごとに各語の索引がある。

\* (162) 日本暦日原典 第4版 内田正男編 雄山閣出版 1992年 1冊

ユリウス暦445年から1872年（明治5年）までの旧暦と西暦の対照表。暦に関する辞書としては『暦の百科事典』（本の友社 1999年 1冊）があり，これには日本の暦，例えば南部暦（なんぶごよみ）などの解説がある。

\* (163) 暦日大鑑 明治改暦1873～2100年 新旧暦・干支九星六曜対照 西沢宥綜編 新人物往来社 1994年 1冊

(164) 日本薬草全書 新日本法規出版 1995年 1冊

(165) 日本漢方典籍辞典 小曾戸洋著 大修館書店 1999年 1冊

9～19世紀に成立した日本の主要な漢方の古典籍707点を書名の五十音順に収録。掲載事項は，著者，巻数，伝来，複製・影印の有無，資料の首巻の第一前半葉の影印など。巻末に書名索引，人名索引，和刻漢籍医書出版年表を付す。

(166) 化審法化学物質 構造別分類番号・CAS番号付与 改訂第4版 通商産業省監修 化学工業日報社 1999年 1冊

「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」により公示される化学物質の一覧で，物質の構造，官報公示整理番号，アメリカ化学会の付与している番号，関連する日本の法規を収録。

(167) 自然保護ハンドブック 沼田眞編 朝倉書店 1998年 1冊

巻末に日本の「天然記念物リスト」「自然遺産リスト」「生物圏保存地域リスト」「植物版レッドリスト」を収録。

(168) 植物群落レッドデータ・ブック わが国における緊急な保護を必要とする植物群落の現状と対策 1996 日本自然保護協会 1996年 1冊

このほか、『日本の希少な野生水生生物に関するデータブック』（水産庁編 日本水産資源保護協会 1998年 1冊）がある。

- \* (169) 原色牧野植物大図鑑 改訂版 牧野富太郎著, 小野幹雄他編 北隆館  
1997年 2冊

離弁花・単子葉植物編, 合弁花・離弁花編からなる。CD-ROM版もある。  
なお, 日本古来の植物については『万葉植物事典』(山田卓三・中嶋信太郎  
北隆館 1995年 1冊)があり, 万葉集の歌の中に詠まれた植物の図版を入  
れて解説がされている。

- (170) 日本動物大百科 日高敏隆監修 平凡社 1996—2000年 11冊

英文書名: The encyclopaedia of animals in Japan. 本体が10冊で, 別巻には約  
2万項目の動物名を網羅した和名索引, 学名索引, 英名索引などを収録。

## [5] 文献紹介

- (171) 書誌年鑑 日外アソシエーツ 年刊

1982年創刊で, 種々の文献に掲載された文献目録をまとめて年刊版にして  
出版している。1997年版からは主題語の五十音順に排列。これより新しい文  
献目録を収録しているのは季刊の雑誌『日本古書通信』に掲載の「最近の書  
誌図書関係文献」である。

- (172) 人物書誌索引 66/77, 78/91 日外アソシエーツ 1979—1994年 2冊

- (173) 主題書誌索引 66/80, 81/91 日外アソシエーツ 1981—1994年 2冊

- (174) 年刊人物文献目録 森陸彦編 日外アソシエーツ 年刊

1980年版が創刊で日本人と外国人をまとめて編集。1981年版以後は日本人  
編と外国人編に分けて刊行されており, 現在1994年版まで刊行されている。

- \* (175) 日本人物文献目録 法政大学文学部史学研究室編 平凡社 1993年  
1冊

初刷は1974年。明治初年から1966年までに発行された図書と雑誌論文の中  
で, 人物の伝記や人物に関する文献目録類を, 被伝者の五十音順に集めて収  
録した人物に関する文献目録。

- \* (176) 日本人名情報索引 改訂増補 馬場萬夫編著 国立国会図書館図書館  
協力部図書館研究所編 紀伊国屋書店発売 1990年 1冊 (研修教材シリー  
ズ No.4)

当館の蔵書の中から, 日本人の人物調査に有用な人名事典・人名録, それ  
に特定の分野に関する人名録を掲載している図書をとりあげて, 事項別, 主  
題別, 地域別に編成した人物書誌。各種の人物書誌や人名事典に収録されて  
いない人物の手掛かりを探すのに利用する。

\* (177) 国立国会図書館所蔵近代日本政治関係人物文献目録1985～1997 国立国会図書館 紀伊国屋書店発売 2000年 1冊

前版(1985年刊)は明治から昭和59年までに刊行された図書から採録。政治家、軍人の伝記・人物論を当館の蔵書から抽出して人物の名前の五十音順に排列。

(178) 婦人問題文献目録 図書の部 1. 明治期編 2. 大正・昭和戦前期編 3. 戦後編(1945～1975), 書名索引 国立国会図書館 1980～1996年 4冊

(179) ○○文学研究文献要覧 日外アソシエーツ

日本文学, 英米文学, フランス文学, ドイツ文学等がある。

(180) 法律判例文献情報 第一法規出版 月刊

創刊は1981年。文献編と判例編からなる。日本語で書かれた法律関係の文献を図書, 雑誌, 判例集, 新聞等から幅広く収録。年間索引あり。CD-ROM版もある。

(181) 官員録・職員録目録 国立国会図書館所蔵 明治元年～昭和22年 1985年 1冊

当館の所蔵を確認できるが, 見方が難しい。

(182) 会社史総合目録 増補改訂版 日本経営史研究所編 丸善 1996年 1冊  
1986年版の改訂版で, 1992年3月までの協力館の所蔵情報を収録。CD-ROM版もある。

(183) 国立国会図書館所蔵社史・経済団体史目録 国立国会図書館 1986年 1冊

社史と経済団体史を分野別に配列。昭和61年以降はカードで維持している。また、『企業・経済団体関係図書目録45/93』(日外アソシエーツ 1995年 1冊)には1945年から1993年までに刊行された図書約12,500点が収録されている。1993年以後については法人, 団体, 企業等あらゆる集団に関する図書を収録した『各界関係団体図書目録94/98』(日外アソシエーツ 1999年 1冊)に掲載されている。これら日外アソシエーツ編集の書誌類については有料のデータベースがある。

\* (184) 経済史文献解題 大阪経済大学日本経済史研究所経済史文献編集委員会編 思文閣出版 年刊

図書・雑誌論文を含み, 経済史を幅広くとらえて採録しており, 歴史系の文献目録としても利用できる。この資料の中から日本経済史関係の文献を取り出し, 数年分をまとめて編纂した『日本経済史第〇文献』がある。現在

の最新は第9文献で1978—1980年分（1995年刊）。なお、出版社が日本評論社、清文堂出版等と変遷。

\* (185) **統計情報インデックス** 総務庁統計局編 日本統計協会 年刊

国の機関と民間団体の一部が調査した各種の統計を探索するための「統計索引」。最初は『統計報告書名鑑』の書名で不定期に刊行され、昭和52年版（1977年版）以降『統計情報総索引』の書名で年刊となり、平成2年版（1992年）からこの書名に変わった。

(186) **教育文献総合目録** 国立教育研究所編 小宮山書店 1967—1976年  
4冊

第1集：明治以降教育文献総合目録 第2集：地方教育資料総合目録

第3集：明治以降教科書総合目録（Ⅰ小学校篇 Ⅱ中等学校篇）

(187) **古代日本研究文献総合目録** 明治元年（1868）～平成10年（1998）3月  
平田耿二編 勉誠出版 1998年 2冊

弥生文化の成立から平氏政権の崩壊までを範囲とした古代日本を対象とした研究文献と古代日本に関係する文献を著者別（五十音順）に掲載。民俗、工芸、音楽、思想、国文学などの周辺分野を採録の対象としている。掲載項目は、論文名、書名、雑誌名、出版社名、巻・号・頁数、発行年月、文献情報等。

(188) **近世日本対外関係文献目録** 中田易直他編 刀水書房 1999年 1冊

1868年（明治元年）から1993年（平成5年）までに日本語で刊行された図書、雑誌論文約3万点を収録。構成は第1部「事項編」第2部「人名編」第3部「地名編」に区分し、さらに、その中を必要に応じて中項目、小項目に分類して、項目内の刊行年の古い順に排列してある。付編として、著者名別の外国語文献（欧文・中国語を含む約3千点）を付す。巻末に編著者、執筆者名索引（五十音順）がある。

(189) **地理学関係書誌の書誌** 奥野隆史編 皓星社 1998年 1冊

日本国内で1880年から1996年までに刊行された図書と雑誌論文に掲載されている文献目録、抄録集、雑誌総索引・総目次を約1万3千件収録。第1部「文献目録・抄録集集覧」では主題と地域に区分して、それぞれの中を編著者の五十音順に排列。第2部「雑誌総索引・総目次集覧」では雑誌名の五十音順に排列。巻末に編著者名の五十音順の索引を付す。

\* (190) **文芸年鑑** 日本文芸家協会編 新潮社 年刊

日本文芸界（文壇）の1年の動向がわかる。各雑誌新聞に連載された小説

の一覧、戯曲等の作品、会員名簿、文学関係の各賞の一覧等を収録。

\* (191) **国語年鑑** 国立国語研究所編 秀英出版 年刊

(192) **国語学研究文献索引** 国語学会・国立国語研究所編 秀英出版 1994—96年 音韻篇、国語史篇 2冊

戦後から1988年頃までの論文一覧。

\* (193) **国文学年鑑** 国文学研究資料館編 至文堂 年刊

国文学系の研究状況や研究団体などの前年の活動を概観し、研究者などの名簿、研究文献目録を収録。『**国文学複製翻刻書目総覧**』正・続（市古貞次他編 1982, 1989年 2冊）のあとに刊行された複製、復刻版をさがすツールとなる。文献目録は Web で公開されている。

(194) **国語国文学資料索引総覧** 付日本語学・言語学研究者著作目録一覧 国立国語研究所図書館編 笠間書院 1995年 1冊

物語、和歌集等の個々の著作物で、本体とは別に編纂された索引を集めて一覧として刊行したもの。物語名などの本体の資料名の五十音順に排列。

\* (195) **近世書籍研究文献目録** 鈴木俊幸編 ぺりかん社 1997年 1冊

江戸期を中心として、書籍や出版文化に関する文献を雑誌や図書から幅広く収録。巻末に著者名の五十音順索引がある。補遺 1・2 が『**書籍文化史**』1, 2（鈴木俊幸編・刊 2000—2001年 2冊）に収録されている。

(196) **雑誌記事索引** 国立国会図書館 季刊

冊子体の刊行は1948年に始まり、1995年末受入雑誌分で中止された。現在 CD-ROM 版で刊行（紀伊國屋書店発売）。また、館内ではデータベースが OPAC で公開されている。Web による一般公開は2002年秋の予定。採録対象誌は最初800誌程度であったが、現在では9,000誌を越えている。

(197) **全国短期大学紀要論文索引** 1950/79, 80/84, 85—91 日本図書センター 1981—1996年 26冊

(196)の雑誌記事索引に収録されていない短期大学の紀要を採録した雑誌記事索引。

(198) **大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録** —1984年, 1985—1987年, 1988—1995年 大宅壮一文庫編著 紀伊國屋書店 1980—1997年 28冊

明治から現在までの雑誌の記事を人名編と件名編に大別して採録。大衆誌や週刊誌など学術雑誌以外の雑誌を収録の対象としている。つまり、当館の雑誌記事索引の採録対象となっていない種類の週刊誌を索引しているため、例えば最新の風俗産業界の現状などの調査に役立つ。CD-ROM 版が刊行さ

れている。この文庫の利用は有料であるが、文庫内では最新の記事索引が検索できる。

- (199) 国立国会図書館所蔵国内逐次刊行物総目次・総索引一覧 平成7年1月末現在 国立国会図書館 1995年 1冊

単行本として刊行された総索引や総目次も収載されている。

- \* (200) 東洋学文献類目 京都大学人文科学研究所附属東洋文献センター年刊

誌名の変遷があるが、戦前期から刊行されており、現在では、中国語・日本語・朝鮮語とロシア語を含む西洋諸言語に区分して編成されている。図書と雑誌を含む中国・朝鮮・日本等の極東に関する最も定評のある文献目録。データベースの検索を Web で公開している。

- (201) 日本資源文献目録 1880—1950 総理府資源調査会 1954—1957年 4冊  
1880年から1950年の間に刊行された雑誌の論文を収載した文献目録。経済産業、人口問題など科学技術のみならず、広い分野の戦前期から戦中・戦後の雑誌論文をカバーしている。

- (202) 科学技術文献速報 科学技術振興事業団科学技術情報事業本部

現在の書名は『Bunsoku ○○○○○』と、あとに各編の名が付く書名に変更された。国内外の主要な科学技術関係文献の抄録誌。新館3階の科学技術資料室で全巻利用できる。1994年までは年刊の主題別索引と著者名索引が出版されていたが、1995年以後はCD-ROM版になった。有料のデータベースもある。かつての編集・発行機関であった日本科学技術情報センター (JICST) は1996年に新技術事業団と統合され、科学技術振興事業団 (JST) 科学技術情報事業本部となった。

## [6] 類縁機関案内

- (203) 類縁機関名簿 1995年版 東京都立中央図書館 1995年 1冊

東京近郊を中心とした専門図書館、資料館の案内。

- (204) 専門情報機関総覧 2000 専門図書館協議会 2000年 1冊

1961年創刊。この版は11回目の改訂版で、約1,900の機関を収録。URLを掲載。

- (205) 全国図書館案内 改訂新版 三一書房 1990—1992年 3冊

- \* (206) 歴史資料保存機関総覧 増補改訂版 地方史研究協議会編 山川出版社 1990年 2冊

都道府県別の全国各地の郷土資料館，図書館，博物館など史・資料を所蔵している機関を掲載し，各機関の住所・電話番号，交通機関の案内，所蔵資料の特徴などを一覧にしたもの。

(207) **人物記念館事典** 日外アソシエーツ 1996年 1冊

現在一般に公開されている，人物の業績を記念して設立した資料館（約300館）の案内。都道府県別に館名，所在地，電話，交通機関，開館時間，入場料，休館日などを掲載。巻末に五十音順の館名索引と人名索引がある。

(208) **個人コレクション美術館博物館事典** 日外アソシエーツ 1998年 1冊

個人のコレクションを公開している美術館，博物館約185館の概要を収録。巻末に館名の五十音順索引，コレクションの種別の索引がある。

(209) **企業博物館事典** 日外アソシエーツ 1997年 1冊

企業・業界団体が設立した博物館・資料館約200館の概要を紹介。

(210) **旧華族家史料所在調査報告書** 本編1～4，附編 学習院大学史料館 1993年 5冊

旧華族の約1,011家分について，家名を五十音順に排列して各家の史料の所在を記述。

## 書名索引

アルファベット順と五十音順に区分して排列し、( ) は本文リストの番号に対応している。

### B

Book page (15)

Books on Japan (3)

Bunsoku ○○○○ (202)

### J

Japan: an illustrated encyclopedia (24)

### K

Kodansha Encyclopedia of Japan (24)

### あ

朝日日本歴史人物事典 (57)

朝日年鑑 (89)

宛字外来語辞典 (41)

### い

イミダス (23)

岩波現代短歌辞典 (157)

岩波日本史辞典 (45)

岩波仏教辞典 (129)

### う

海を越えた日本人名事典 (67)

### え

映画年鑑 (140)

### お

大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録 (198)

音楽年鑑 (140)

### か

海外進出企業総覧 (87)

海外の日本語教育の現状 (107)

会社史総合目録 (182)

会社職員録 (75)

会社年鑑 (86)

科学技術文献速報 (202)

学術雑誌総合目録 (10)

化審法化学物質 構造別分類番号・CAS 番号付与 (166)

各界関係団体図書目録94/98 (183)

学会名鑑 (79)

学研漢和大字典 (38)

学研国語大辞典 (29)

角川茶道大事典 (147)

角川書道字典 (40)

角川新字源 (39)

角川日本姓氏歴史人物大辞典 (59)

角川日本地名大辞典 (47) (59)

歌舞伎事典 (149)

歌舞伎の舞台技術と技術者たち (150)

カラー版日本語大辞典 (26)

官員録・職員録目録 (181)

漢文学者総覧 (64)

### き

季刊書誌ナビ (21)

企業・経済団体関係図書目録45/93 (183)

企業博物館事典 (209)

旧華族家史料所在調査報告書 (210)

教育文献総合目録 (186)

業種別貸出審査事典 (106)

近世漢学者伝記著作大事典 (64)

近世書籍研究文献目録 (195)

近世日本対外関係文献目録 (188)

近代日本政治関係人物文献目録 (177)

近代日本総合年表 (113)

### く

くずし字辞典 (146)

くずし字用例辞典 (146)

### け

経済史文献解題 (184)

研究者・研究課題総覧 (69)

原色牧野植物大図鑑 (169)

現代外国人名録 (61)

現代国語辞典 (31)

現代史資料 (98)

現代政治学事典 (93)

現代短歌辞典 (157)

現代短歌大事典 (157)

現代日本朝日人名事典 (56)

現代日本執筆者大事典 (70)

現代日本人名録 (60)

現代用語の基礎知識 (23)

### こ

広漢和辞典 (33)

広辞苑 (27)

広辞林 (30)  
講談社新大辞典 (36)  
号・別名辞典 (62)  
国語学研究文献索引 (192)  
国語国文学資料索引総覧 (194)  
国語年鑑 (191)  
国史大辞典 (42) (118) (133)  
国書人名辞典 (63)  
国書総目録 (7) (63)  
国書読み方辞典 (7)  
国内逐次刊行物総目次・総索引一覧 (199)  
国文学年鑑 (193)  
国文学複製翻刻書目総覧 (193)  
国宝・重要文化財総合目録 (143)  
国宝・重要文化財大全 (144)  
国宝大事典 (144)  
国民生活時間調査 (110)  
国立国会図書館所蔵近代日本政治関係人物  
文献目録 (177)  
国立国会図書館所蔵国内逐次刊行物総目  
次・総索引一覧 (199)  
国立国会図書館所蔵社史・経済団体史目録  
(183)  
古事類苑 (22)  
個人コレクション美術館博物館事典 (208)  
古代地名大辞典 (51)  
古代日本研究文献総合目録 (187)  
古典籍総合目録 (8)  
暦の百科事典 (162)  
コンサイス日本人名事典 (58)  
コンサイス日本地名事典 (48)

さ

最新産業情報ガイド (103)  
最新美術・デザイン賞事典 (141)  
最新文学賞事典 (141)  
最新文化賞事典 (141)  
雑誌記事索引 (196)  
雑誌新聞総かたろぐ (21)  
茶道大事典 (147)  
産業情報ガイド (103)  
参考書誌研究 (5)

し

字訓 (35)

自然保護ハンドブック (167)  
市町村区分による全国寺院大鑑 (137)  
事典昭和戦後期の日本 占領と改革 (97)  
事典昭和戦前期の日本 制度と実態 (96)  
字統 (34)  
児童図書目録 (2)  
週刊東洋経済 (87)  
宗教年鑑 (125)  
主題書誌索引 (173)  
出版年鑑 (14)  
職員録 (72)  
植物群落レッドデータ・ブック (168)  
植物大図鑑 (169)  
書誌ナビ (21)  
書誌年鑑 (171)  
書籍文化史 (195)  
書道字典 (40)  
史料日本の地方自治 (99)  
新キリスト教辞典 (139)  
新現代日本執筆者大事典 (71)  
新字源 (39)  
人事興信録 (74)  
新宗教ガイドブック (126)  
新宗教教団・人物事典 (127)  
新収洋書総合目録 (9)  
新撰大人名辞典 (54)  
新中央省庁機構図 (93)  
新潮現代国語辞典 (31)  
新潮日本人名辞典 (55)  
新潮日本文学辞典 (154)  
新潮日本文学小辞典 (154)  
神道事典 (128)  
人物記念館事典 (207)  
人物書誌索引 (172)  
新編姓氏家系辞書 (53)  
新編蔵書印譜 (160)  
新編帝国図書館と古書目録 (4)  
新編和歌の解釈と鑑賞事典 (156)  
新明解国語辞典 (31)

す

スーパー大辞林 (28)

せ

姓氏家系辞書 (53)

政治関係人物文献目録 (177)  
世界諸国の制度・組織・人事 (95)  
世界年鑑 (89)  
全国各種団体名鑑 (78)  
全国学術研究団体総覧 (79)  
全国公益法人名鑑 (82)  
全国試験研究機関名鑑 (80)  
全国市町村史刊行総覧 (120)  
全国大学一覧 (81)  
全国大学職員録 (76)  
全国短期大学紀要論文索引 (197)  
全国短期大学・高等専門学校一覧 (81)  
全国団体名簿 (78)  
全国図書館案内 (205)  
全集・合集収載翻訳図書目録 (18)  
全集・叢書細目総覧 (19)  
全集叢書総覧 (20)  
戦前期日本官僚制の制度・組織・人事 (94)  
専門情報機関総覧 (204)

そ

続現代史資料 (98)

た

対外関係史総合年表 (114)  
大漢語林 (37)  
大漢語林語彙総覧 (37)  
大漢和辞典 (32)  
大辞林 (28)  
大蔵経全解説大事典 (136)  
大日本地名辞書 (49)  
ダイヤモンド会社職員録 (75)

ち

知恵蔵 (23)  
地方史文献総合目録 (119)  
地理学関係書誌の書誌 (189)

て

帝国図書館和古書目録 (4)  
訂正日本天台宗年表 (132)  
データ&data 情報源情報 基本データ検索  
事典 (105)  
展覧会カタログ目録 (5)

と

東京都現代美術館所蔵展覧会カタログ目録  
(5)

統計情報インデックス (185)  
統計情報総索引 (185)  
統計報告書名鑑 (185)  
東商信用録 (85)  
東都嚙家系図 (151)  
東洋学文献類目 (200)  
読史備要 (115)  
特殊法人総覧 (83)

な

7カ国語科学技術用語辞典 (161)

に

日本うたことば表現辞典 (52)  
日本外交主要文書・年表 (102)  
日本外交年表並主要文書 (101)  
日本関係欧文図書目録 (3)  
日本漢方典籍辞典 (165)  
日本教科書大系 (108)  
日本キリスト教歴史大事典 (138)  
日本近現代史研究事典 (121)  
日本近現代史辞典 (46)  
日本近代文学大事典 (153)  
日本金融名鑑 (88)  
日本経済史第○文献 (184)  
日本語教育施設要覧 (109)  
日本国語大辞典 (25)  
日本古書通信 (171)  
日本古代史研究事典 (121)  
日本語大辞典 (26)  
日本古典籍書誌学辞典 (160)  
日本古典文学大辞典 (152)  
日本資源文献目録 (201)  
日本史広辞典 (44)  
日本史資料総覧 (116)  
日本史人名よみかた辞典 (66)  
日本史総覧 (115)  
日本史大事典 (43)  
日本史文献解題辞典 (118)  
日本書籍総目録 (13)  
日本紳士録 (73)  
日本人物文献目録 (175)  
日本人名辞典 (55)  
日本人名情報索引 (176)  
日本人名大事典 (54)

日本随筆索引 (159)  
日本姓氏歴史人物大辞典 (59)  
日本全国書誌 (11)  
日本俗信辞典 (123)  
日本地名事典 (48)  
日本地名大辞典 (47)  
日本中世史研究事典 (121)  
日本天台宗年表 (132)  
日本動物大百科 (170)  
日本年中行事辞典 (122)  
日本の希少な野生水生生物に関するデータブック (168)  
日本美術作品レファレンス事典 (142)  
日本仏教史辞典 (133)  
日本仏教典籍大事典 (135)  
日本舞蹈図鑑 (148)  
日本文学辞典 (154)  
日本文学地名大辞典 (52)  
日本文化総合年表 (112)  
日本民俗宗教辞典 (124)  
日本民俗大辞典 (124)  
日本名作事典 (155)  
日本薬草全書 (164)  
日本洋学人名事典 (77)  
日本陸海軍総合事典 (100)  
日本歴史地名体系 (50)  
日本暦日原典 (162)  
人間国宝事典 (145)  
ね  
年刊人物文献目録 (174)  
年表日本歴史 (111)  
は  
俳文学大辞典 (158)  
白書 (90)

藩史大事典 (117)  
ひ  
ビジネス調査資料総覧 (104)  
ビジネス調査資料総覧月報 (104)  
美術年鑑 (140)  
ふ  
婦人問題文献目録 (178)  
仏教学辞典 (130)  
仏教語大辞典 (131)  
仏教辞典 (129)  
仏書解説大辞典 (134)  
〇〇文学研究文献要覧 (179)  
文学賞事典 (141)  
文化賞事典 (141)  
文芸年鑑 (190)  
ほ  
法律判例文献情報 (180)  
法令難語辞典 (92)  
法令用語辞典 (91)  
法令用語小辞典 (91)  
ポケット日本名作事典 (155)  
本の年鑑 (15)  
翻訳図書目録 (17)  
ま〜わ  
万葉植物事典 (169)  
明治・大正・昭和翻訳文学目録 (16)  
読売年鑑 (89)  
来日西洋人名事典 (68)  
類縁機関名簿 (203)  
歴史資料保存機関総覧 (206)  
暦日大鑑 (163)  
和学者総覧 (65)  
和歌の解釈と鑑賞事典 (156)

(むらかみきよこ 専門資料部参考課)